

チーム豊成の力を高め、「潤いと勢い」のある学校づくり

Connect



帯広市立豊成小学校 キャリアプロジェクト通信

令和7年7月8日
NO.5 文責 菊谷

キャリア

JA かわにし青年部のみなさんの思いを聞いて ～農業王国～帯広・十勝のすばらしさ～

6月17日（火）帯広市の「食育推進サポーター事業」の一環で、今年度も16名のJAかわにし青年部の皆さんが来校されました。大きな自動運転トラクター（新車）2台が朝早くにグラウンドに入り、スマイルホールには、大きな牛の模型が登場！5年生の総合的な学習「私たちの食と農業を考えよう」の出前授業がスタートしました。

キャリアプランニング能力（「働くこと」の意義を理解し、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力）の育成を目指します。

「自動運転トラクターの試乗」「牛の模型を使った搾乳」という貴重な体験と、帯広の農業と酪農の素晴らしさや、やりがい、その仕事に対する思いについても聞くことができました。



「天候に左右され、たくさん収穫できるときと、そうではないときがあるので、とても大変な仕事だけれど、農業王国十勝と呼ばれるこの地域で作物を作り、全国の人々の食を支えているということを誇りに思っている。みんなが「おいしい」といって笑顔になってくれることがうれしいし、これからは安全でおいしいものをみんなの食卓に届けたい。」とお話してくださいました。

十勝の農業・酪農への熱意や思いを子どもたちは心で受け止めることができたようです。



感想

- ・僕は、農家の仕事を将来やってみたいと思いました。感謝していただくことの意味がよくわかった。
- ・青年部の方の農業に対する思いがすごいと思った。
- ・農業王国に住んでいることは幸せだと思った。残食をせずに牛乳も感謝して飲みたい。

